

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR B 作業班(第 26 回)

議事要旨

1 開催日時：令和 6 年 11 月 26 日（火）10:00～11:50

2 開催場所：Web 会議開催 (Cisco Webex)

3 出席者（敬称略）

【構成員】久保田主任 (TELEC)、田島主任代理 (NTT-AT)、塚原主任代理 (JQA)、中村主任代理 (鉄道総研)、有田構成員（電気興業）、安藤構成員（電気事業連合会）、石黒構成員 (JET)、井上 (正) 構成員（東陽 EMC）、上田構成員 (JEMA)、尾崎構成員（富士電機）、笠井構成員 (超音波工業会)、加藤構成員 (REEA)、金子構成員（日本溶接協会）、河瀬構成員（富士電機）、木下構成員 (JEITA)、栗原構成員（日本工作機械工業会）、佐藤構成員 (JR 東日本)、竹内構成員 (鉄道総研)、田邊構成員 (日本大学)、谷澤構成員 (JRC)、永野構成員 (ARIB)、橋本構成員 (NHK)、平野構成員 (JFMDA)、三塚構成員 (TELEC)、山中構成員 (NICT)、(代理出席) 大平構成員 (ロボット工業会)

【関係者】雨宮氏 (VCCI)

【事務局】総務省：今泉電波監視官、郷藤電磁障害係長(記)

4 議事要旨

(1) CISPR B 小委員会 総会等 審議結果について

中村主任代理より WG2 の審議結果について資料 26-1-2 に基づき説明が行われた。特に質疑はなかった。

次に、田島主任代理より WG7 の審議結果について資料 26-1-3 に基づき説明が行われた。特に質疑はなかった。

次に、久保田主任より AHG4 の審議結果について資料 26-1-4 に基づき説明が行われた。特に質疑はなかった。

次に、久保田主任より総会の審議結果について資料 26-1-1 に基づき説明が行われた。質疑応答は以下のとおり。

田邊構成員：P. 5 の WG2 と WG7 について、発電設備の測定が in situ 測定になるということで、重複する懸念があると吉岡氏よりされたとあるが、そもそもこれは重複するのか。

久保田主任：本日は吉岡氏が欠席なので、詳細な議論はできないが、私としてはバッティングしていないと理解している。そもそも測定の対象や目的が異なるので、交通整理が必要と思われる。WG2 としてはこれまでの進め方でよいと思われ、その過程で測定器の使い方として、別の測定器の使い方があってもよいかと思っている。次の WG2 の会合時に整理をした方がよいかと思っている。

田邊構成員 : WG のレベルというより、B 小委員会全体の話かと思う。WG7 が扱う CISPR 37 は、「ISM 機器の」とあるので、Scope としては重なっていないかと思う。

久保田主任 : 従来は重なっていなかったと思うが、例えば風力発電設備が CISPR 37 の対象となっている。

田邊構成員 : それは ISM 機器になるということなのか。

久保田主任 : 許容値としては ISM 機器のものを適用しようということになっている。再生エネルギーの時代なので、従来の大型の発電所からの電力系統だけではなくなっている。

田邊構成員 : そうであれば、重なる部分があるかと思う。

久保田主任 : 本日は吉岡氏が参加されていないので、関係者で別の機会に議論したい。

田邊構成員 : 承知した。

尾崎構成員 : B 小委員会のスコープには、ISM はもちろん、IEC のサイトにもあるとおり、大容量装置や送電線とか入っているの、矛盾していることはないかと思う。

田邊構成員 : high voltage equipment は WG2 で従来やってきた。コンビーナの Ahn 氏は、それらは電力系統に入ってくるので、WG2 でやらないといけないという考えではあるが、アクションができていないと理解している。

尾崎構成員 : Ahn 氏は発生源の形が全く違うとも言っていたかと思う。

田邊構成員 : 電力系統は WG2 でやりたいというのが彼の希望である。

久保田主任 : 太陽光発電や風力発電等の新しい形の発電システムの妨害波をどうするかとなったときに、CISPR 11 のグループ 2 の許容値を適用しようとなっている。in situ の話だと CISPR 37 になるということで、吉岡氏は発言されているのかと思う。最終的に B 小委員会の中でどう整理するかは決まっていないので、関係者で別の機会に方向性を整理したい。

田邊構成員 : 電力系統に関わるところについては、WG2 のメンバーに電力系統のメンバーがいる。WG1 でやるとなると、どうするのかとなるので、交通整理が必要と考えている。関係者で別の機会に整理し、アクションをおこしたい。

尾崎構成員 : 何らかの連絡会のような形で B 小委員会の中でも横の連携をしなくてはならないと感じた。

田邊構成員 : B 小委員会 総会で吉岡氏が発言された時にも、チャットで「それは WG2 だよ」と発言された方もいた。

久保田主任 : 吉岡氏と今後調整したい。

田邊構成員 : 了。

尾崎構成員 : 決定事項の 10 項の WG7 で作成した CC に対するオブザベーション結果を提示する場所が無い件について、WG7 としてはプロジェクトがリセットされるため CC を出す必要はないとしていたが、吉岡氏から有益な文書であるとして、オブザベーション付きの INF 文書として回付されることとなったので、資料 26-1-1 を修正する。

(2) 電波利用環境委員会報告(案)について

久保田主任より資料 26-2-1 及び 26-2-2 に基づき説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

田邊構成員 : WG2 の「樹木の影響」について、「草木の影響」に修正いただきたい。

久保田主任 : 承知した。

井上構成員 : 900 件を 90 件に修正いただきたい。

久保田主任 : 承知した。

(3) CISPR 11 国内答申アドホックグループの進捗について

事務局より資料 26-3 に基づき説明が行われた。特に質疑はなかった。

(4) その他

特段なし。

以上